

G 経営講習開く

岩手協

【岩手】岩手県トラック協会(海鋒守会長)は8日、グリーン経営講習会を開き、認証取得に向けた取り組みや申請手続きなどを説明した。

グリーン経営は二酸化炭素(CO₂)削減による地球温暖化防止に加え、省燃費運転による事故防止対策としても大きな効果が期待されることから、導入促進を図るのが目的。

交通エコロジィ・モビリティ財団グリーン経営推進

課の吉川博之課長が「推進マニュアル及び認証制度、取得準備と導入効果」をテーマに説明。取得後のCO₂削減量や燃費率向上、事故発生件数の減少などの具体的な効果事例や申請手続き方法を示した。

10月末現在、トラック運送業の全国認証数は3090社(5835事業所)で、登録保有車両数15万1000両余りで、業界全体(121万4000両弱)のシェア率は12・5%に達している。岩手県では54社、1万2800両が登録している。(富田 久男)



導入効果や申請手続きなどを説明